

記載例(抽出)

下の枠は、HFCのみを抽出して記載しております。CFC及びHCFCについても同様に記入して下さい。

H F C							
	(1) エアコンディショナー		(2) 冷蔵機器及び冷凍機器		(3) 合計		
	設 置	設置以外	設 置	設置以外	設 置	設置以外	
H F C を充填した第一種特定製品の台数	10 台	20 台	5 台	1 台	15 台	21 台	} A
⑰ 充填した量	50.00 kg	60.00 kg	25.00 kg	16.00 kg	75.00 kg	76.00 kg	
	整 備	廃 棄 等	整 備	廃 棄 等	整 備	廃 棄 等	} B
H F C を回収した第一種特定製品の台数	20 台	7 台	1 台	5 台	21 台	12 台	
⑱ 回収した量	52.50 kg	15.50 kg	15.00 kg	28.75 kg	67.50 kg	44.25 kg	
⑲ 年度当初に保管していた量					0 kg	2.00 kg	← C
⑳ 第一種フロン類再生業者に引き渡した量					30.00 kg	20.00 kg	← D
㉑ フロン類破壊業者に引き渡した量					30.00 kg	20.00 kg	← E
㉒ 法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量					0 kg	6.25 kg	← F
㉓ 第49条第1号に規定する者に引き渡した量					0 kg	0 kg	← G
㉔ 年度末に保管していた量					7.50 kg	0 kg	← H

(注意点)

- A : 機器の設置時に充填したフロン類の量及び機器の設置以外の際に充填したフロン類の量を台数とともに記入。
- B : 整備時に回収したフロン類（回収後、再び当該製品に冷媒として充填した量を除く）と廃棄等の際に回収したフロン類の量を台数とともに記入。
(※「廃棄等」とは、部品等のリサイクルを目的としてリサイクル業者等に機器を譲渡する場合も含む。)
- C : 前々年度末（3月31日）までに回収したフロン類のうち、前年度当初（4月1日時点）で保管していたフロン類（購入したフロン類は除く）の量を記入する。
- D : 前年度中に回収したフロン類のうち、第一種フロン類再生業者に引き渡した量を記入。
- E : 前年度中に回収したフロン類のうち、フロン類破壊業者に引き渡した量を記入。
- F : 前年度中に回収したフロン類のうち、冷媒として充填の用に供する目的で自ら再生し、充填したフロン類の量について記入。
- G : 前年度中に回収したフロン類のうち、充填回収業者が引き渡したフロン類を第一種フロン類再生業者又はフロン類破壊業者に確実に引き渡す者であって、都道府県知事が認めた者（省令49条業者）に引き渡した量について記入。
- H : 前年度中に回収したフロン類のうち、前年度末（3月31日時点）に保管していたフロン類（購入したフロン類は除く）の量を記入。

(参考)

- 高知県内における第一種フロン類再生業者とその事業所について
大旺新洋株式会社 環境エンジニアリング本部（高知市長浜5033番地21）
- 高知県内におけるフロン類破壊業者とその事業所について
大旺新洋株式会社 環境エンジニアリング本部（高知市長浜5033番地21）
住友大阪セメント株式会社 高知工場（須崎市押岡123番地）
- 高知県知事が認めた省令49条業者とその事業所について
高知県冷凍空調設備工業会 高知県回収冷媒管理センター（高知市長浜5033番地21）